

5. 1 1 サプレッサバルブの洗浄

サプレッサバルブを交換する場合や本機を長期間使用しない場合は、サプレッサバルブを純水で洗浄してください。

【用意するもの】

サプレッサゲル容器（空）（品番：0022449 または 0022450）	1 個	付属品
純水	適量	
廃液瓶	1 個	

【手順】

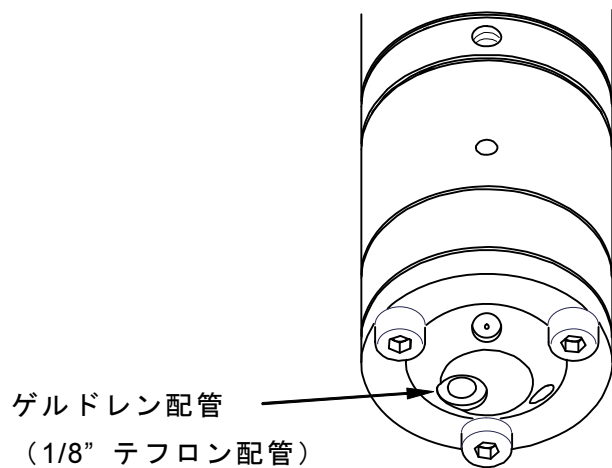
- ① 操作部の **FLOW** キーを押し、ポンプの送液を停止します。
- ② 本機正面左側のドアを開き、サプレッサゲル容器を取付部から外します。
- ③ 純水を入れたサプレッサゲル容器を取付部に取り付けます。
- ④ 操作部より以下の手順でサプレッサバルブの切り替えを実行します。
 - 1) モニタ画面表示時に **F2 (Analy.)** キーを押します。
 - 2) 分析モード設定画面で、**ENT** キーを押してカーソルを **Suppressor** の位置に移動し、テンキーから **1** を入力して **ENT** キーを押します。（**Suppressor : 1 (Used)** に設定）
 - 3) **F5 (Back)** キーを押してモニタ画面を表示し、**F3 (Unit)** キーを押します。
 - 4) ユニット選択画面で、テンキーから "**4**" (**Suppressor**) を入力し、**ENT** キーを押します。
 - 5) サプレッサ画面 1 で、**ChangeCount** にカーソルがあることを確認し、テンキーから **9** を入力して、**ENT** キーを押します。
 - 6) サプレッサ画面 1 で、**F2<Change>** キーを押し、サプレッサの切り替えを開始します。
- ⑤ サプレッサバルブのゲル供給配管内のゲルが排出されるまで、サプレッサバルブの切り替えを繰り返します。



サプレッサバルブの切り替え終了時は、エラー E0406 ゲル切れが表示されます。

5. 1 1 サプレッサバルブの洗浄

- ⑥ 廃液瓶を本機より低い位置に置き、ゲルドレン配管を差し込みます。
- ⑦ サプレッサバルブ底面に接続されたゲルドレン配管を外し、配管内のゲルを排出します。



本機を長期間使用しない場合は、5.14 項 (P5-31) に従って配管流路の洗浄も行ってください。